

西中だより

平成27年度 No.7
平成27年 6月11日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

平成27年度岩瀬支部中体連総合大会で見た生徒の成長!

- 生徒達は、他校の生徒と戦って、いろいろな経験をしたことでしょう。今後の学習と生活に生かしてくれることを心から祈ります。

【大会の結果】一敬称略一

- ・バレーボール女子 3位 ・ソフトテニス女子 3位 ・硬式テニス男子(個人) 1位 名子弥希
- ・バドミントン女子(個人) 3位 遊佐栞那 ・卓球男子(個人) 1位 相楽 将 ベスト10 伊藤大平
- ・卓球女子(個人) 2位 五十嵐のどか ・卓球男子ダブルス ベスト8 和田歩空、小黑 司
- ・卓球女子ダブルス ベスト10 佐藤生良、鈴木星羅

%%% よい歯のコンクールに多くの生徒が入賞 %%%【敬称略】

- 中体連の総合体育大会が間近にせまる中で、多くの生徒が得意な分野で応募してくれました。結果、下記のように入選を果たしましたので、お知らせします。

- ・よい歯の生徒：水野ゆめか(3年)、和田歩空(3年)、名子弥希(3年)
- ・書写：入選 斎藤 茜(1年)、根本大夢(3年)
- ・標語：入選 西間木蓮(1年)「歯みがきで シャットアウトだ むし歯菌」
入選 伊藤成海(2年)「むし歯と勝負 武器は歯ブラシ 歯磨き隊」

◆◆◆ 県民公募ロボット大賞で渡辺康靖君が優秀賞 ◆◆◆

- 県が未来に役立つロボットのイラストを県民から募る「ふくしまから チャレンジ はじめよう。未来ロボット大賞」の最終審査会の結果、本校の渡辺康靖君(1年1組)がジュニアの部門で**優秀賞**に輝きました。ジュニアの部門には、県内から741点の作品が出品され、その中から選出されました。



- 今回は美術部の活動としての受賞です。さて、夏休み中は様々な募集があります。作文、俳句、少年の主張作文、英語スピーチコンテスト、発明工夫展などです。自分で興味関心がある分野について、積極的に参加して、自分の得意を見出してほしいものです。運動が得意な生徒でも発明工夫に良いアイデアを持っている者も沢山います。小学校で理科作品展に応募した経験を生かし、今から少しずつ準備を進めてください。

《 校長のつぶやき 》・・・「もっと挑戦し、自分を高めよう」・・・

- 「朝、一人で校庭を走る生徒の姿が目にとまりました。何かに挑戦している様子が、校長室の窓越しに見ていても分かりました。“おはよう”と声を掛けようとしたのですが、思いとどまりました。黙々と練習に取り組む姿が発している気力を感じたからかもしれません。放課後、同じ生徒がまた一人で走る姿が校庭にありました。インターバルトレーニングをしているのでしょうか。しばらくして、整理運動をし、校庭に挨拶の一礼をして帰って行きました。」・・・彼はきっと良い記録を出すことでしょう。なぜなら、内面の成長が自分を押し上げ、行動を変えたからです。自分から行なう行為は質的に高いものです。
- 「休みの日に駐車場に車を止めると、二階の窓から楽器の音色が響いてきました。よく聞くと以前より上手くなったことが、素人である私にも分かりました。彼は、4月頃から一生懸命に練習していました。私が挨拶をすると元気に挨拶を返してくれたので、彼のことをよく覚えていました。」・・・できなかったことが、継続して挑戦する中でできるようになったことを実感できれば、生徒はおのずから成長します。なせば成る、為さねば成らぬことに気づいてくれたら最高です。
- 「清掃の時間になると3年生が駆け足で集合してくれます。清掃場所を話し、移動してすぐに作業を開始します。彼らは黙々と取り組みます。」・・・終わってから私が必ず行うことがあります。それは、清掃した場所を見て感想を聞くことです。生徒は決まって、“綺麗になり、気持ちがいいです。”と答えてくれます。また、一つ成長したなと感じる一瞬です。
- ー 子どもは日々成長しています。ちょうど筍が地面から芽を出し、一晩で数メートルも伸びることと似ています。ですから、日々同じように見える行いでも、そこに少しずつの成長があるのです。**大事なことは、自分からやろうという気持ちで、挑戦し、行動することです。**ー

